

インターネットと流通構造の変化 (3)

インターネットによる流通構造の変化はまず一般小売店を直撃することになります。これまでは、書籍、CDなどを取り上げ、メーカーからないしは作者からの直接販売が可能になりつつあることを書いてみましたが、もしそうなった場合、本やCDなどを持つというものは何の意味を持つのでしょうか。これまで、書籍はいろいろな情報を提供してきましたが、情報は生き物です、1年もすれば古い情報となって見向きもされなくなってしまいます。それで残るのが古本の山。文芸書も同じで、一度読み終わってしまえばためておいてただ自己満足の蔵書となってしまいます。物体としての「本」はデータさえ受けることができ、必要なときに使うこと（読むこと）さえできれば問題はありません。本屋CDが物体として存在しなければならぬというのはこれまでの固定観念でしかないのです。各方面でビックバンが叫ばれ、構造が変化しつつあります。出版、音楽も同じで、著作権問題が解決すれば目の前に迫っています。確かにホームページ上で小説でも音楽でも自分の作品を発表することは可能で、数多くのホームページがあるものと思います（有料であるかどうかの問題はありますが）。

インターネット上といえば、証券会社、銀行もインターネット上だけで営業している会社がすでにあります。証券会社の株取引もこれまで電話で依頼していたのであればインターネットのメールで行うなど、セキュリティを何重にもすることによって営業しています。現金も各銀行間でデータとしてやり取りされているわけですから簡単です。そうした場合、日本国内の銀行である必要性も無くなってしまいます。日本の銀行から海外の銀行へ口座を移し、すべて海外で運用、決済する。このようなグローバル的なこともできるようになるのではないのでしょうか。国境の垣根もどうなってしまうのやら。しかし、そのために各銀行、証券会社も自由化の波にのみこまれないように対処しているのです。

インターネットショッピングもだいぶ進んできているようです。今では大手のデパートもホームページを持って始めていますが、それよりも可能であれば海外のホームページにアクセスして、直接購入することもできます。逆に、日本酒メーカーが海外からの注文に応じることもできますし、ホームページがあれば海外有名ブランドに直接注文することも可能となります。すべては決済がシステムとしてしっかりすることが条件ですが、インターネット上でいろいろ検索し、今一番あったものがあればその場で購入することもできるようになります。これまでのカタログショッピングはどうしても第一線の販売形態には成り得ない部分がありましたが、インターネットにはいろいろな可能性があります。海外商品を紹介するサービスや仲介するサービスもホームページ上で可能ですし、このような大きな構造変化は時期を別にすれば必ずやって来ます。このことにより大打撃を受ける業種もあるでしょうが、裏を返せば新しいビジネスチャンスでも有ります。インターネットを対岸の花火大会のように感じていては21世紀を迎えることはできないのではないのでしょうか。

(終了)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 9月6日号

特集 VTRがなくなる

→20年にわたり家庭に普及してきたアナログVTRがハンディはすでにデジタル記録に、据え置き型もデジタル記録から光ディスク、HDDへと新しいものが出てきた。ポストVTRはパソコンとなるのか。

○日経パソコン 9月6日号

特集 2000年問題完全ガイド

→コンピュータの2000年問題。その期日は目の前に迫っている。実際そのときに何が起こるのか。問題の発生する可能性がある場合はそのときの対応方法について。新しいOS、アプリケーションでも修正が必要。

特集 液晶ディスプレイ再入門

→現在デスクトップの30%が液晶ディスプレイとのセット品となっているが、液晶もいいところばかりではない。もう一度注意点の再確認。

○日経オープンシステム 9月号

特集 失敗しないシステム構築プロジェクト

→システム構築区プロジェクトを成功に導くポイントが変化している。予算内で、期間内に仕様書通り作っても失敗する場合がある。ユーザが何を求めているかを仕様書に十分落とし込む必要がある。これまでのプロジェクト管理の常識のいくつかはすでに非常識になっている。

特集 システム効果の測り方

→システムの会社への貢献度をどのように測るか。その結果をどのようにシステムにフィードバックするか。測りづらいシステムの効果を具体的にどのようにして測るかを提言。

○日経ネットビジネス 10月号

特集 波に乗るモバイルEC

→モバイルECの主役は携帯電話。iモードの契約が100万台を超え情報提供サイトも1500に迫っている。利用料金もパケット単位で気兼ね無く接続することができる。

特集 一兆円の市場がネットに眠る、企業向けにビジネス続々誕生

→企業向けネットビジネスとして、福利厚生部や総務部などの企業の間接部門の業務を支援するサービスがジャンルとして確立しつつある。保養所としての宿泊予約代行、健康相談、購買代行、給与計算まで、企業の間接部門のコスト削減のニーズとあって伸びている。

○PCWORLD 10月号

特集 だれでもできるデジタル・オーディオ&ビジュアル編集

→パソコンの性能が向上し、ちょっと前では放送局などでしかできなかった編集が家庭でもできるようになってきている。必要な機材は、編集のテクニックは。

- 特集 Office 2000の新機能使いこなしガイド
→Web対応になったOffice 2000。それをどこまで使うのか、
だんだん難しくなるようなOffice。Office 97との比較で
アップグレードから新機能の使い方まで解説。
- 特集 ユーザ必須のWindowsユーティリティはこれだ！
→備え有れば憂い無し。Windowsの障害を防止したり修復したりす
るユーティリティ。ファイル圧縮からビューア復元プログラムまで実際
に使うのに値するものはどれか。

○DOS/V magazine 10月1日号

- 特集 本格始動！Athlonマシン
→PentiumⅢよりも高速なAthlonマシン。しかし、以前のよ
うにCPUだけを乗せかえるわけには行かない。総合力を判断して導入
を検討するには。
- 特集 TCP/IP完全マスタ（応用編）
→ネットワークのプロトコルといえばTCP/IP。パソコンが早くなっ
てもボトルネックとなる通信ということでそのチューニングや設定の特
集。
- 特集 疲れ知らずの姿勢とイス
→イスに座っての作業の多いパソコン操作。疲れないための姿勢と椅子の
選び方。